

## 環境への配慮

### 大気質・騒音・振動

騒音や振動を抑えるために必要に応じて、仮囲いの設置を行い、環境基準を超える箇所については防音壁を設置します。橋梁区間については桁つなぎ目がない連続桁などを採用し、極力振動の影響がないよう努めています。濁水等の流出を防止するため、必要に応じて沈砂池や処理柵等を設け、印旛沼や周辺河川への負荷低減を図り、周辺環境に対する監視を行います。

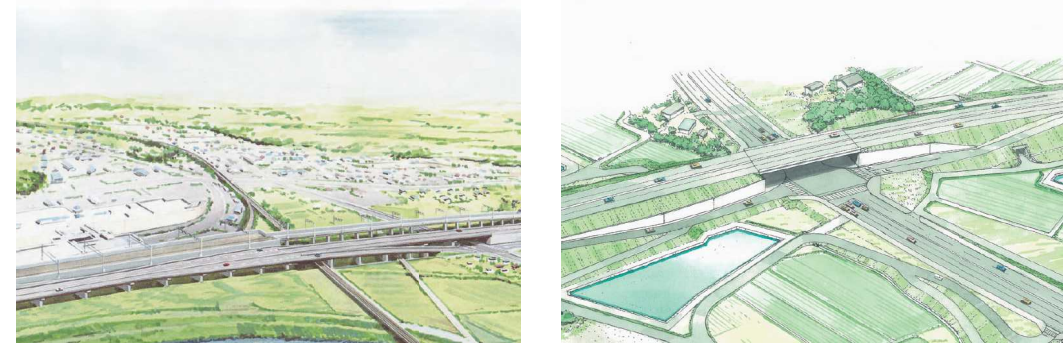
### 動物・植物・生態系

側溝内に転落した小動物の脱出用スロープを設置します。湿地性希少鳥類への影響に対する代替措置として、新たな生息環境を創出するためヨシ原の造成を行いました。道路照明による昆虫類の誘引が起りにくい照明灯を設置しています。重要な種に対しては、改変区域に生息する個体の移植により地域個体群に与える影響を最小限に抑えています。

### 景観

印旛沼橋梁部およびその周辺においては景観検討委員会の結果をふまえ、橋梁の高さを出来るだけ抑えた形状・構造としています。

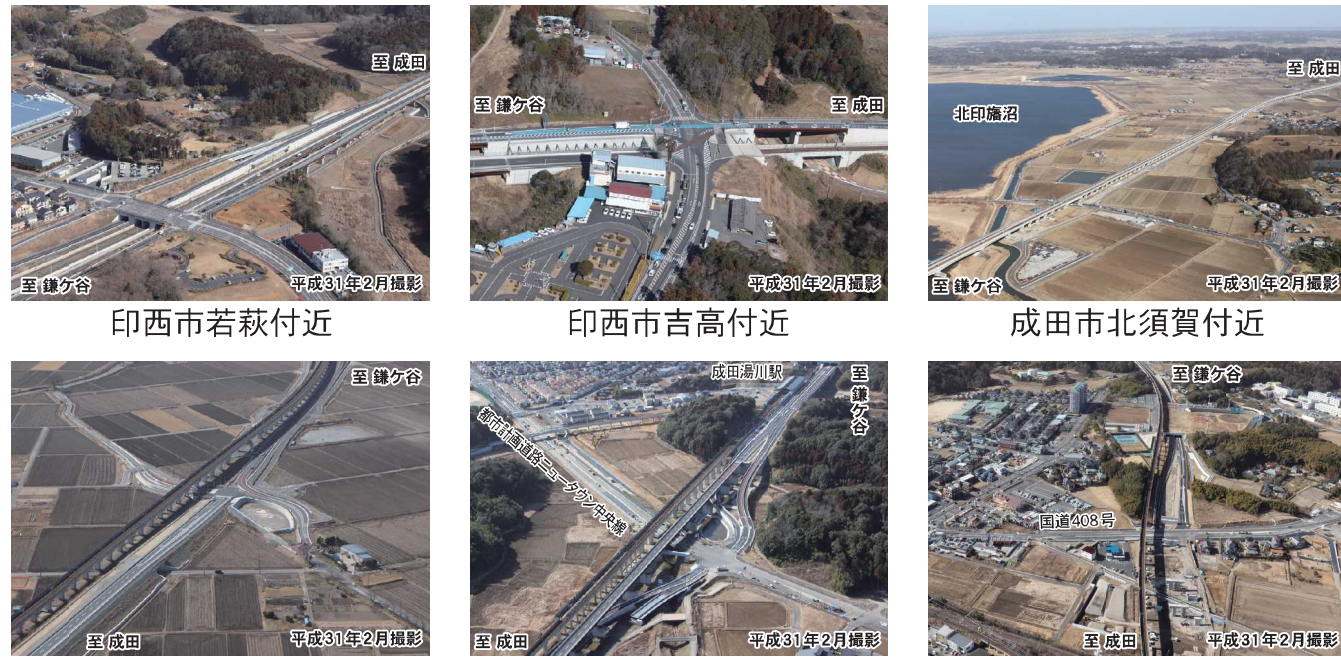
### 整備イメージ



国道408号交差点付近

国道51号交差点付近

### 整備状況



印西市若萩付近

印西市吉高付近

成田市北須賀付近

成田市船形付近

都市計画道路ニュータウン中央線

成田市押畑付近

## 事業計画の位置図



### 経緯

平成5年4月	松戸市～成田市間47kmが一般国道464号に指定される
平成13年8月※1	都市再生プロジェクト(第二次決定)に位置付けられる
平成17年12月※2	環境影響評価書の告示・縦覧を実施(12/1～1/4)
平成17年12月27日※2	都市計画決定告示(印旛村～成田市)
平成18年1月4日	国土交通省 関東地方整備局長 工事開始告示(権限代行) 成田市北須賀から同市押畑まで
平成20年2月12日	都市計画変更決定告示(印旛村～成田市押畑)
平成25年5月31日	成田市北須賀～船形間1.8kmの部分供用開始
平成29年2月19日	印西市若萩～成田市北須賀間4.2kmの部分供用開始
平成31年3月3日	成田市船形～成田市押畑間3.8kmの部分供用開始

※1 平成13年8月に第3回都市再生本部が決定した都市再生プロジェクト(第二次決定)において、大都市圏の国際競争力を高め、我が国経済の牽引役とするため、国際都市に相応しい国際交流・物流機能を確保する観点から、首都圏北部と成田国際空港間のアクセス時間を大幅に短縮する新たな道路アクセスルートとして、東京外かく環状道路の東側区間の早期整備と北千葉道路の計画の早期具体化を推進すると位置付けられた。  
 ※2 環境影響評価及び都市計画手続きは成田スカイアクセス線と同時に実施。

### 北千葉道路(事業区間)についてのご質問・お問い合わせ先

千葉県北千葉道路建設事務所  
 〒286-0017 成田市赤坂2-1-14  
 ポンヘルタ成田店アネックスB棟3階  
 TEL.0476-28-1411  
<http://www.pref.chiba.lg.jp/kitachi-do/index.html>

国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所  
 〒263-0016 千葉市稲毛区天台5-27-1  
 TEL.043-287-0311(代)  
<http://www.ktr.mlit.go.jp/chiba>

## 一般国道464号



# 北千葉道路

Kitachiba Road

## ● 印西～成田

人、物、文化  
 ゆめからかたちへ

# 世界につながる 北千葉道路

## 事業計画の概要

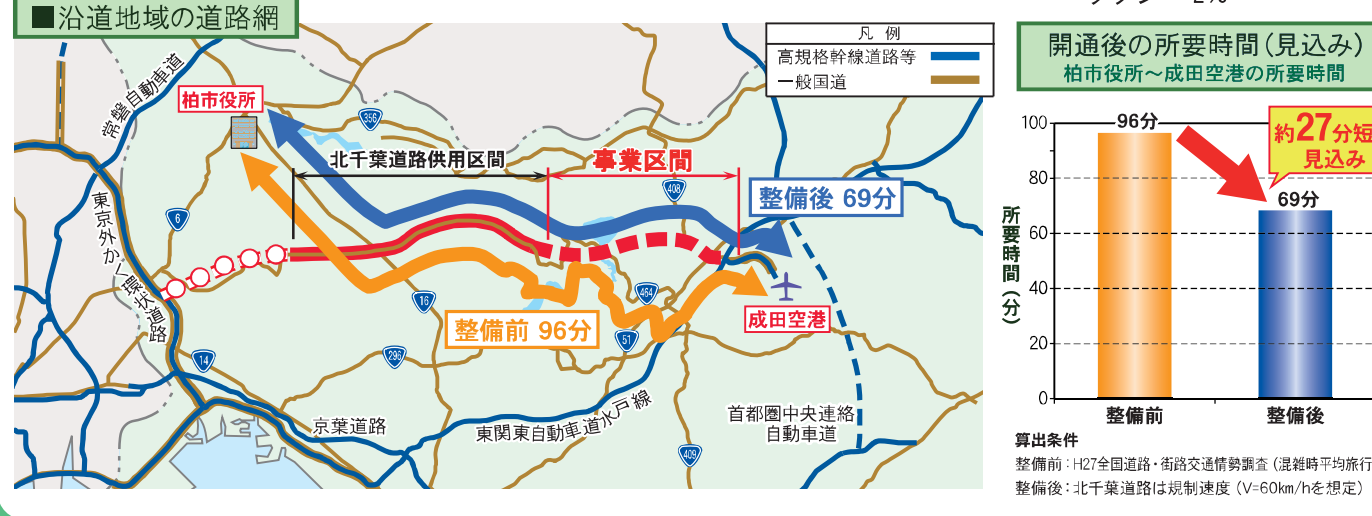
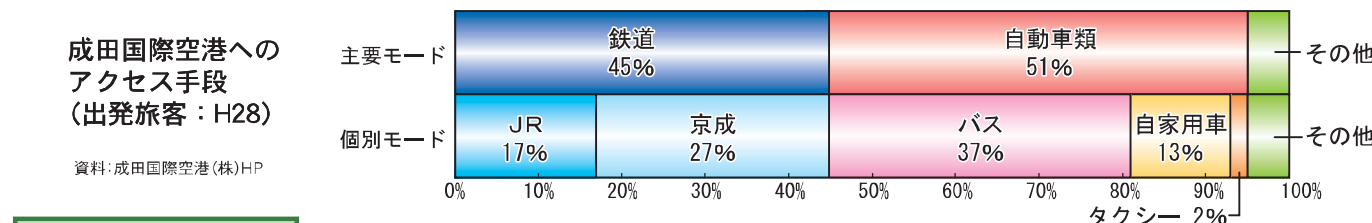
一般国道464号北千葉道路は、常磐自動車道及び東関東自動車道(水戸線)のほぼ中間に位置し、東京外かく環状道路から千葉ニュータウンを経て成田国際空港を最短で結ぶ延長43kmの幹線道路です。このうち、東側の印西市若萩から一般国道464号、408号、51号等と交差し、一般国道295号に接続する成田市大山までの約13.5kmについて事業を実施しているところです。本区間の整備により、首都圏北部や県西地域と成田国際空港間とのアクセス強化が図られるとともに、沿線地域相互の交流・連携の促進、物流の効率化など、地域の活性化に寄与します。

### 北千葉道路による主な効果

本道路が整備されると、以下のような効果が期待されます。

- 地域活性化の実現
- 交通処理能力の向上・成田市街地の交通円滑化
- 広域道路ネットワークの強化・物流効率化の支援
- 救急医療・防災機能の強化

### 成田国際空港へのアクセス強化



### 標準横断面(代表断面)

